

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構の 業務実績評価について

平成30年8月31日
宇宙開発戦略推進事務局

1. JAXA業務実績評価について

＜評価の流れ＞

- 独立行政法人通則法に基づき、所管大臣（内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、経済産業大臣）は業務実績を評価。
- 7月に審議会にて評価の検討開始。8月末までに取りまとめ。



（参考）宇宙政策委員会JAXA分科会委員

分科会長 青木 節子 慶應義塾大学大学院 法務研究科教授
会長代理 田辺 国昭 東京大学大学院 法学政治学研究科・公共政策大学院教授
遠藤 典子 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授
片岡 晴彦 元防衛省航空幕僚長
白坂 成功 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科教授
関 淑子 付加価値技術研究所代表
並木 則行 国立天文台教授

- 今年度は、①昨年度（H29年度）の業務実績評価に加え、
②第3期中期目標期間全体（5年）の業務実績評価を実施。



①H 29年度の業務実績評価
②H 25～29年度（中期目標期間全体）の業務実績評価

2. 評価結果

＜評価結果＞

○S、A及びB評価の加重平均により、中期目標期間評価及び平成29年度評価とともに、総合評価はA評価。

	総合評定	S	A	B	C
平成29年度評価	A	3	13	15	0
中期目標期間評価	A	4	14	13	0

(参考) 個別評価の内訳（内閣府評価対象項目）

		平成29 年度評価	第3期 評価
1. 宇宙安全保 障の確保	(1)衛星測位	B	B
	(2)衛星リモートセンシング	A	A
	(3)衛星通信・衛星放送	B	B
	(4)宇宙輸送システム	S	S
	(5)その他の取組	A	A
2. 民生分野に おける宇宙利用 の推進	(1)衛星測位	B	A
	(2)衛星リモートセンシング	A	S
	(3)衛星通信・衛星放送	B	B
	(4)その他の取組	B	B
3. 宇宙産業及 び科学技術の 基盤の維持・強 化	(1)宇宙輸送システム	S	S
	(2)宇宙科学・探査	B	B
	(3)有人宇宙活動	A	A
	(4)宇宙太陽光発電	B	B
	(5)個別プロジェクトを支える産業基盤・科学技術基盤の強化策	A	A
4. 横断的事項	(1)利用拡大のための総合的な取組	A	A
	(2)調査分析・戦略立案機能の強化	B	B
	(3)基盤的な施設・設備の整備	B	A
	(4)国内の人的基盤の総合的強化、国民的な理解の増進	A	A
	(5)宇宙空間における法の支配の実現・強化	A	A
	(6)国際宇宙協力の強化	A	A
	(7)相手国ニーズに応えるインフラ海外展開の推進	B	A
	(8)情報開示・広報	A	A
	(9)事業評価の実施	B	B

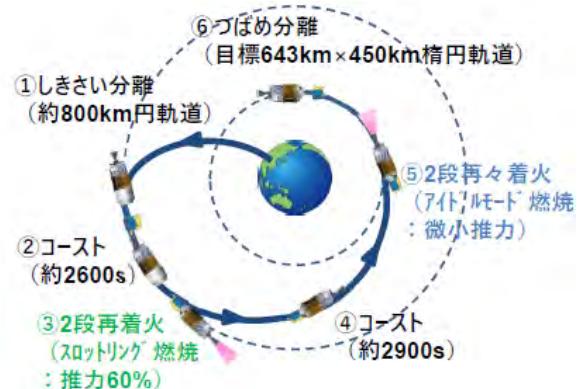
3. H29年度 実績評価のポイント

<S評価>

- 宇宙輸送システム：H-IIAロケット37号機において、異なる2軌道への投入ミッションとして、「しきさい」、「つばめ」の相乗り打上げに成功。また、過去最多となる基幹ロケット年間6機の打上げ計画を成立させ実行した。



H-IIAロケット37号機 打ち上げ



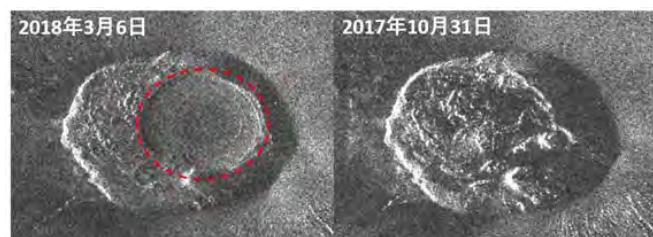
異なる2軌道への投入計画

<A評価>

- 有人宇宙活動：宇宙探査に関する閣僚級国際会議（ISEF2）の成功への貢献。日本実験棟「きぼう」での民間利用拡大を推進。
- 衛星リモートセンシング：「防災基本計画」に情報収集手段として人工衛星が追記。霧島山（新燃岳）の噴火や九州北部豪雨における状況把握などにおいて、ALOS-2等が活用され、防災分野での利用が拡大。
- その他、産業基盤・科学技術基盤の強化、利用拡大のための取組、国民的な理解の増進、国際協力強化等にてA評価。



ISEF2会合



新燃岳火口付近のALOS-2観測画像
(赤の点線が3月の噴火によって形成されたと考えられる溶岩ドーム)

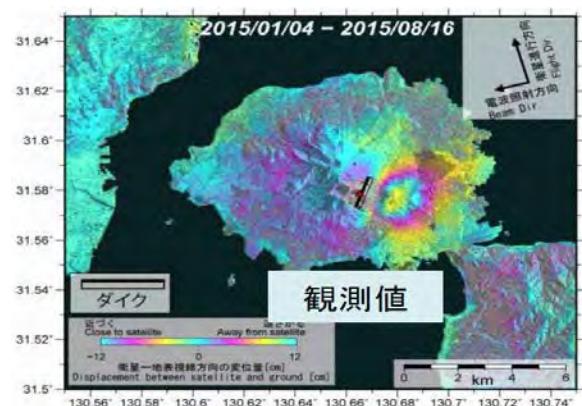
4. 第3期中期目標期間 実績評価のポイント

<S評価>

- ・ 宇宙輸送システム：世界水準を凌駕する高い成功率・オンタイム率を維持（H-IIAロケット打ち上げ成功率97.7%、オンタイム成功率94.7%）。前中期計画の2倍の合計22機のロケットを打ち上げを実施。
- ・ 衛星リモートセンシング：箱根山や桜島の観測結果が、警戒レベル判断や自治体の立ち入り規制判断に活用されるなど、社会インフラとしての活用が拡大。

各国ロケット	打上げ成功率	オカ化成功率
H-IIA/B (日)	97.7% (43/44)	94.7%
デルタ4 (米)	97.2% (35/36)	71%
アトラス (米)	98.7% (75/76)	82%
ファルコン9 (米)	96.1% (49/51)	50%
アリアン5 (欧)	95.9% (93/97)	83%

各国との打上げベンチマーク
(平成30年3月末現在)



桜島の火山活動 観測結果
(平成27年8月)

<A評価>

- ・ 有人宇宙活動：関係国唯一の宇宙ステーション補給機成功率100%。
- ・ インフラ海外展開の推進：UAEの宇宙機関と協力協定を締結し H-IIAロケットによる同国の火星探査衛星の打ち上げ受注に寄与。
- ・ その他、衛星測位、国民的な理解の増進、国際協力強化等にてA評価。



宇宙ステーション補給機
HTV-6



UAE火星探査打上げ契約署名式
(平成28年3月)